

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 018	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会 (県植木生産組合連合会)
要望問題 神奈川県らしい実用観賞樹品種の開発促進	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模 (面積、数量等) 】 ハナモモ照手やサルスベリシリーズに続く、本県を代表する独自の新たな観賞樹品種育成が強く望まれる。①花が付く花木類、②シリーズものの複数品種、③樹高が適度な大きさの樹木、等が公共用樹でも、庭園用樹としても市場性が高いと思われるので、実用化を促進していただきたい。具体的には ・塩害に強く観賞性が高い、早咲き性、ほうき性のオオシマ系・マメザクラ系等サクラ類 ・「花色が桃、黄、白」などの耐暑性シャクナゲ等 ・本会の種苗販売実績の高いサルスベリの育種促進。うどん粉病耐性があり、早咲き性品種の育種など、品ぞろえを拡充。 観賞樹は増殖に年数を要するが、早期の品種育成・開発を要望する。 なお、枝垂れ性ヤポンの育種を進めているとのことであるが、種苗登録および増殖を前にそれぞれの植栽用途 (垣根用、街路樹用、庭園用など) 向きに植栽を行い、適性を慎重に判断し、種苗登録時点から適した用途向けの生産・出荷が出来るようにデータの収集を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 早咲き性のほうき性ハナモモの育成、枝垂れ性ヤポン新品種育成		
対応の内容等	新品種育成につきましては、現在、早生のほうき性ハナモモおよび枝垂れ性のヤポンについて育種を進めております。ほうき性のサクラ品種については、フラワーセンターで「八重寒緋桜と富士桜」を交配したものがありますので、これを調査します。サルスベリについては、平成18年度に選抜した複色タイプのうどんこ病に強い系統の評価を実施します。観賞樹の品種育成については、ご要望の樹種が多岐に渡っていることから、現地と情報交換をしながら樹種の検索・検討をいたします。また、枝垂れ性ヤポンについては、植栽用途を想定した上での特性調査を行います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			